

活用してみませんか
～コンテンツ紹介 1～

StuDX Style 「STEAM ライブラリー」

文部科学省より公開されている特設ウェブサイト「StuDX Style」に「STEAM ライブラリー」というコンテンツがあるのは御存知でしょうか。

ちなみに STEAM とは、Science (科学)、Technology (技術)、Engineering (工学)、Arts (人文社会・芸術・デザイン)、Mathematics (数学) の頭文字を取った言葉です。AI と第四次産業革命の世紀に価値を生み出す力を養うために、学びを「より学際的で、創造的社会的な学び」へとシフトさせていく考え方といえます。「STEAM ライブラリー」では、子供たちの興味・関心に応じてコンテンツ(教材)を検索することができます。その中の一つを紹介すると、小学4年生の国語で学習する「ごんぎつね」を STEAM 化しながら総合学習の探究として、広く学びや学び直しができる資料や動画があります。是非、御覧ください。



出典) 文部科学省 StuDX Style



文部科学省
StuDX Style
「STEAM
ライブラリー」

活用してみませんか
～コンテンツ紹介 2～

みやぎ情報活用ノート(小学校編、中学校編、高校編)

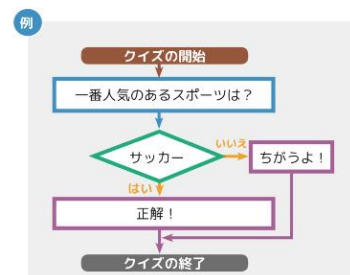
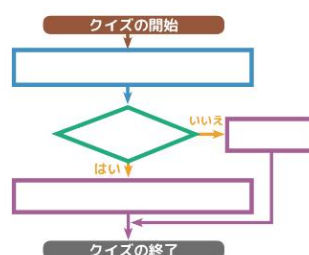
宮城県では、みやぎ情報活用能力育成共同プロジェクト事業として、児童生徒の発達の段階に応じた情報活用能力の育成を目指した教材「みやぎ情報活用ノート」を作成しています。学習指導要領の趣旨を踏まえながら、学校の ICT 環境の整備を推進するとともに、児童生徒の情報活用能力の育成について、より具体的に取り組むことができるよう、活動スキル、探究スキル、プログラミング、情報モラルの4つに分類され、学習指導に資する資料となっています。小学校・中学校・高校でノートが分かれており、授業ですぐ使えるようになっています。皆さんも活用してみましょう。



出典) みやぎ情報活用能力育成共同プロジェクト事業

2. やってみよう クイズをフローチャートにしてみよう

実際に、わくに言葉を用いて書いてみよう。



編集後記

Mナビ新聞—情報教育通信—第20号はいかがだったでしょうか。今回は、学校の授業や研修等で活用できる情報を中心にお伝えしました。Mナビ新聞では、皆様からのご感想・ご意見・ご要望を募集しております。右記の二次元コードからフォームに記入していただくと幸いです。次号もお楽しみに! (第20号担当: 赤坂)

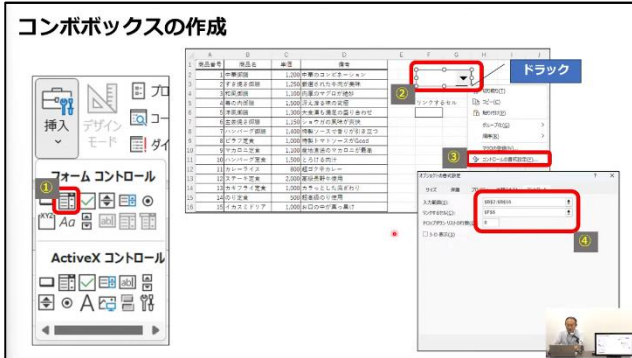


絶賛放送中！MナビTV

本センターでは、MナビTV情報チャンネルとして情報教育に関する研修プログラムをYouTube等で配信しています。内容は以下のような4番組となっています。Mナビ新聞の16号でMナビTVスタートのお知らせをお伝えしましたが、各番組ともにすでに5回程度放送しています。リアルタイムで視聴できなかった方は、宮城県総合教育センターのYouTubeチャンネルより視聴することができますので、是非、御覧ください。



MナビTV情報教育チャンネル Googleカレンダー



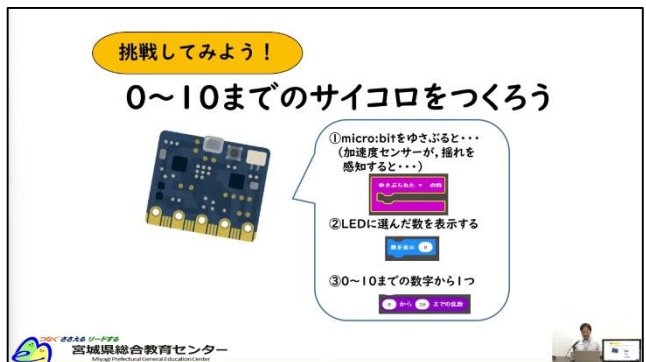
「ステップバイステップもっとプログラミング season2」
エクセル(VBA)の初心者を対象とした、業務改善に役立つプログラミングを紹介しています。



「GWを使ってみよう Season2 実践編」
Google Workspaceを活用した授業づくりと、県内の教員の実践事例について紹介しています。



「いまさら聞けないICT活用術」
授業や校務で使えるICTの活用方法について紹介しています。



「育てよう情報活用能力(小学校 version)」
小学校段階における情報活用能力を育むためのプログラミング教育の概要や実践例を紹介しています。

長期研修の研究成果(教育の情報化グループ)

本センターのホームページには、センターおすすめ情報として長期研修の研究成果が掲載されています。校内研修等で活用できる資料となっていますので、是非、御覧ください。



令和4年度専門研究・教育の情報化グループ
学習支援 Web サイト「With タブレ」



令和3年度専門研究・教育の情報化グループ
情報モラル育成パッケージ「#60秒情報モラル」